

dragon's
left
hand
company

present

白
い
花
・
シ
ャ
ー
マ
ン
と
呼
ば
れ
た
男

脚本・演出／グロッセ龍太

出演／グロッセ龍太 相田直一郎 萩原和人

人は白い花を持って生まれてくると言う。それは神様が、この地に降り立ち新しい旅を始めようとする魂を祝福して、白い花を持たせるそうだ。神様は魂に白い花を渡してこう言う、「お前にはすべての可能性を与えた。しかしその可能性を見いだすのお前次第だ、、、」白い花を受け取った魂は、天から地球を見下ろし、幸せの言葉を唱え一気に飛び立つそうだ。能力も才能もない人間は何を求めて生きればいいのか？そんな悩みを持ち続けながら生きてきた三男が、願いを叶えるために旅に出る心打つ冒険物語。語り部をペーストとした、心に染み渡る歌と音楽が織りなす不思議な空間をお楽しみください。

グ
ロ
ッ
セ



龍太

1978年 ベルギー生まれ

2001年よりパリの演劇学校LE MAGASIN に4年間在籍し、演劇を学ぶ。その傍ら短編映画や舞台等で活躍する。2003年、学校付属の劇団に所属し、多くのフランス人俳優の中からTiteufというフランスの伝説的なコミックキャラクターをモチーフとした舞台の主演に抜擢される。その後、パリのMichel Galabru 劇場で自身の最初の演出となる舞台「Projection Privée」を2ヶ月間上演する。現在『dragon's left hand company』を主催している。「白い花・シャーマンと呼ばれた男」は「シェイマの木」に続いて2作目となる。

相
田



直一郎

1973年 埼玉県在住

世界最古の木管楽器"ディジリデゥ"奏者兼会社員
ユーカリの木をシロアリに食わせ、筒所にくりぬいて作られている ディジリデゥを心から愛し、ディジリデゥ演奏を通して、様々な人と出会い、豊かな人生を送りたいと願っている。現在、ディジリデゥの発祥の地、オーストラリアの旅を計画中。ディジリデゥの奏でる宇宙の深遠な響きを堪能して欲しい。

萩
原



和人

1974年 埼玉県在住

アフリカの打楽器"ジェンベ"奏者兼「かぎろひ」の店主
二十歳の頃から地元で自然食品店などでコックとして研鑽を積む。その後、8年前から妻の影響で環境、平和、農（食）に興味を持ち始め、昔ながらの食材とフェアトレードのお店「かぎろひ」を3年前にオープンさせた。ジェンベは4年前から本格的にはじめ、その奥深さと、操ることの難しさを感じるも、それ以上にジェンベの面白さにはまる。是非、ジェンベの放つ壮大な大地のリズムを味わって欲しい。



日時：2008年4月5日（土）

場所：アサヒコミュニティセンター

<http://www.nukamori.net/acc/>

JR総武線小岩駅から徒歩5分、京成バス小岩駅北口から徒歩3分。

開場：18時30 開演：19時00

入場料：1,500円（ドリンク付き）

定員：25名（要予約）

予約：ryug7@river.ocn.ne.jp / 090-1371-8274